

未来はあるか

4

核=原子力に 核=原子力問題の本質を見据える- 差別に抵抗する



小出裕章

こいで・ひろあき ● 京都大学原子炉実験所助教。1949年東京生まれ。東北大学原子核工学科卒。同大学院修了。原子力の「平和」利用に夢を抱き原子核工学を専攻するが、大学闘争や女川原子力発電所建設反対運動に接する中で、核=原子力が差別の上にか成り立たないことを知る。以降、原子力を廃絶させることを自らの課題とする。専門は放射線計測、原子力安全。伊方原発訴訟住民側証人。人形峠ウラン残土訴訟で住民側に立ち、地裁・高裁あわせて8通の意見書を提出。著書に『原子力と共存できるか』『人形峠ウラン鉱害裁判』など。1987年から年度版百科事典『イミダス』の原子力の章を執筆。

石油・石炭を含め、物を燃やせば二酸化炭素が発生します。原子力ではウランやプルトニウムを核分裂させますが、その反応では二酸化炭素は出ません。そのことを捉えて、原子力は二酸化炭素を出さないで環境に優しいなどと言う途方もない宣伝が日夜流されています。二酸化炭素は地球の生態系にとって必須の物質ですが、核分裂生成物、いわゆる死の灰は生態系にとって圧倒的な毒物です。

その上、原子力の燃料であるウランやプルトニウム自体も放射能を持つ危険物です。そのため、それらを核分裂させる以前、たとえばウラン鉱山でウランを採掘する段階からすでに被曝は始まります。私はいつも不思議に思いますが、

世界のウラン鉱山はほぼすべていわゆる先住民の地で見つけられ、エネルギー浪費社会とは無縁な先住民が被曝させられてきました。

原子力発電所の現場でももちろん人為的な作業労働は無数にあり、被曝労働が日常化しています。その上、被曝の96%以上を下請け労働者が負っています(上図参照)。

2007年夏に発生した中越沖地震は東京電力の柏崎・刈羽原発を襲い、設置許可で認められた3倍もの揺れを引き起こしました。発電所内ではたくさんの故障や汚染が起きました。国と東京電力は何が何でも運転再開をめざしていますが、まずなすべきことは、間違っで与えられた設置許可を取り消すことです。一方、原発に反対

する人たちの多くは、きちんと破損の調査をするよう求めます。それは当然でまたさやかな要求です。しかし、すでに放射能まみれになっている原発をきちんと調べようとすればするだけ、労働者の被曝は増えます。そしてそれを負うのは下請け労働者たちです。

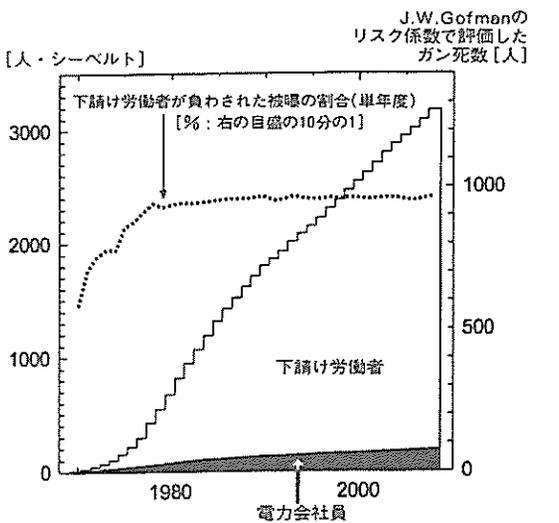
核II原子力に希望はあるか

柏崎・刈羽原発は世界最大の原子力発電所ですが、新潟県、つまり東京電力の給電範囲ではなく東北電力の供給範囲に建っています。東京電力は世界最大の原発保有電力会社で、福島第1、福島第2の原子力発電所も持っています。これらもまた東北電力の給電範囲にあります。そして、今また青森県下北半島の先端に東通原発を作ろうとしています。そうして作られた電気は、長い送電線を引いて東京に送られ、享樂的なエネルギー浪費を続ける都民の生活を支えます。

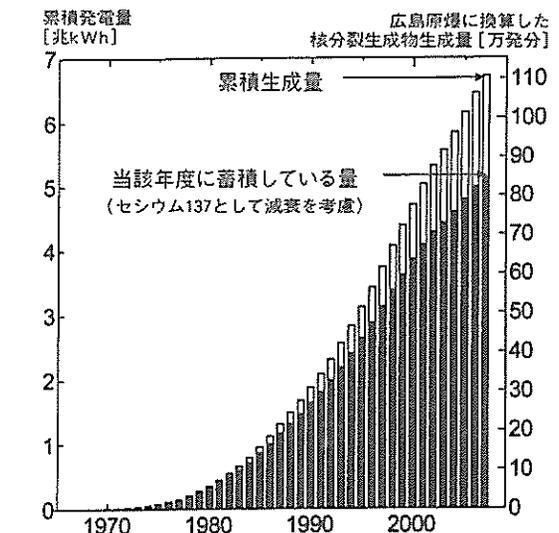
7基・合計出力821万kWの柏崎・刈羽原発の運転が再開されれば、毎年広島原発1万発分の核分裂生成物が生まれます。1966年に始まった日本の原子力発電では、すでに累積で広島原発110万発分を超える核分裂生成物を作っ

てしまいました(下図参照)。人類にはそれを無毒化する力がなく、追い詰められた国や電力会社はそれを地下に埋め棄てにするといいました。ところが、それが地下に隔離されていなければならぬ時間の長さは100万年です。そのようなことを科学が保証できる道理がありません。その埋め棄ての場所として、今、財政が疲弊させられた地方の小さな自治体が狙われています。その上、私たちは、自らが享樂的な生活をするために、その選択に何の異論を挟むこともできない将来の世代に重荷を残すことになります。

私は原子力を専門としていながら、原子力を廃絶したいと思いません。原子力はもちろん圧倒的に危険なものです。しかし、私が原子力を廃絶させたいと願うのは、原子力が危険だからという前に、原子力が始めから終わりまで、謂れない犠牲をしわ寄せするからです。私は今後とも原子力に抵抗します。本紙の読者は基本的には原子力と無縁の場で生きているでしょう。でも、一人ひとりの読者の周りにもまた、謂れない犠牲を強いる差別が満ちているはず。その差別に抵抗し、差別のない世界ができた時、原子力もまた廃絶されているはず。 (了)



原発労働者の累積被曝線量と予想されるガン死者数 ICRPのリスク係数を用いると死者数は1/8になる



日本の原子力発電による累積発電量と核分裂生成物の累積生成量

原子力では、発電量と放射線の生成量は1対1に対応する。たしかに、日本の原子力発電は7兆kWh近い電力を生産したが、その裏では、広島原発が撒き散らした放射線の110万発分を超える放射能を生み出した

市民活動掲示板

●「葦牙(あしかび)」こどもが拓く未来 みちのくのある児童養護施設の記録 ポレポレ東中野(東中野駅) 11月21日(土)~27日(金) 1日4回上映 11月28日(土)~1日1回上映 小池征人監督作品 前売券1200円 当日券一般1500円 <http://www.kazesoyo.com>

●企画展 失われた朝鮮文化遺産-植民地下での文化財の略奪・流出、そして返還-公開へ 開催中~11月29日(日) 開館12:00~17:00 休館日:月・火 高麗博物館(東新宿駅A1出口・西武新宿駅北口・新大久保駅) 大人400円 中・高生200円 小学生無料 TEL03-5272-3510 <http://www.40net.jp/~kourai/>